

大規模集積回路(LSI)の開発技術にソフトウェアの開発技術を組み合わせた、独自のシステムLSIの企画、設計開発で大手半導体メーカーを支援、同時に手ごわいライバルに成長しつつあるのがアドバンスデザインテクノロジー(東京都府中市)だ。LSIの高集積・高速・省電力化など高度なニーズに 대응する同社は、工場を持たない「究極のファブレス企業」をめざし躍進している。



高橋純樹社長

キラ星企業

多摩発

最先端のLSI開発

計や評価業務の受託、大手との共同開発を主力としてきた。電子機器システムの設計・製作を中心に幅広い手がけ、カーナビシステム、LSIや高速度インターフェース、ダムなどを提携企業と共同

開発、次世代携帯電話、音声合成システム、次世代インターネットフェースなどのシステムを開発した技術力は定評がある。技術力の源泉は理論と実用の融合ともいえる。例えば画像処理をワンチップで行う画像チップ。

【会社概要】
東京都府中市寿町1-1-3三ツ木寿町ビル
高橋純樹氏(46)
042・354・3460
5億4000万円
(2006年6月期)
50人
電子機器・半導体デバイスの企画、設計開発、評価、販売



LSIのデザインを設計する若手社員

「アルゴリズム(数学的計算手順)を電気回路に置き換えるソフトは誰でもできてハード化、つまりCPU(中央演算処理装置)ボードに組み込むLSIを作るのは企業であり、当社の出番(須田専務)となる。現在進めている戦略プロジェクトは「カード型」の超小型CPUボードの開発。カード大のボード

秘伝の技術力、大手と競う

械を緊急停止させるなどの用途が期待される。こうした装置の性能はあらゆるデジタル信号を省電力、高速で演算するデジタル・シグナル・プロセッサ(DSP)に左右される。最近の同社はこの分野では大手と競う技術力をつけ、時には大手が下請けの役割を担う場面さえある。

最先端のLSI開発は当然、高い技術レベルが求められるが、「同時に技術者同士や顧客とのさ詰め談判から生まれる職人のひらめき、秘伝のノウハウが生きる世界」(須田専務)。だから人材育成には力が入る。今春、社員五十人の同社は、大手派遣会社と提携、三十人もの新卒派遣技術者

が加わった。九月には首都大学東京日野校でのマツチンク会で「無線通信監視装置による無線通信システムの共同開発」を大学院生に呼びかけた。LSIというパソコンや携帯端末などのキーデバイスで蓄積した技術を生み出している同社。創業以来、倍々ペースで売り上げを増やし七年目で五億四千万円を確保した。高橋純樹社長は「二〇〇七年六月期もセキユリの市場開拓を中心に、売上高九億円と倍増を見込んでいます。四、五年先の店頭公開も視野に入ってきた」と言い切った。(多摩支局 鈴木純一)